

資料 2

障害福祉に関する意識調査 (知的障害のある人)

しょうがいふくし かん ちょうさ 障害福祉に関する調査

2014年10月

ちょうさ きょうりょく ねが 調査へのご協力のお願い

1. この調査は、障害のある人びとの生活全般の向上をめざし、安心して暮らせる福祉社会の実現に向けての基礎資料とするために、白山市と金沢大学「障害と医療・福祉」研究会が共同で実施するものです。調査の目的をご理解いただき、率直なご意見をご記入いただきますようお願いいたします。
2. この調査は、あなたさまをはじめ、市内にお住まいの障害者に関する手帳をお持ちの方々から、くじ引きに似た方法（無作為抽出法）で1500名を選ばせていただきました。
3. 回答は、封筒の宛名のご本人が記入してください。ご本人が記入できない場合は、ご家族などどなたかに代筆していただくか、ご本人の意思を尊重して、ご回答ください。
4. この調査は無記名ですので、どなたのご回答であるのか特定されることはありません。みなさま方個人および、ご家族の方々のことが外部にもれることは絶対にありません。また、この調査票で得られたデータは、白山市の福祉行政を実現する施策づくりおよび大学での研究目的以外には使用いたしません。
5. ご記入いただきましたら、10月14日（火）までに同封の返信用封筒に入れてご投函ください。※切手は不要です。封筒裏面に差出人のお名前を記入する必要もありません。
6. 以上の点をご理解いただき、なにとぞご協力をお願いいたします。この調査に関するご質問がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

じっしせきにんしゃ 【実施責任者】

はくさんしけんこうふくししょうがいふくしか
白山市健康福祉部障害福祉課

かなざわだいがく しょうがい いりょう ふくし けんきゅうかい
金沢大学「障害と医療・福祉」研究会

とい あ さき 【問い合わせ先】

はくさんしけんこうふくししょうがいふくしか
白山市健康福祉部障害福祉課

T e l : 0 7 6 - 2 7 4 - 9 5 2 6

F a x : 0 7 6 - 2 7 5 - 2 2 1 1

ちょうさひょうきにゅうじょう ちゅういじこう 調査票記入上の注意事項

◎ご記入は、黒または青色のボールペン・ペン・鉛筆でお願いいたします。

◎回答のしかた

- (1) ほとんどの質問は、あてはまるものの番号（**123・・・の数字**）を○印でかこんで、お答えください。
- (2) いくつかの質問には、枠内に文字・数字を直接ご記入ください。
- (3) 答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。

■まず、あなたご自身のことについてお聞きします。

問1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. ご本人が記入 | 3. ご家族がご本人に代わって回答 |
| 2. ご家族が代筆 | 4. その他 () |

問2 あなたの性別はどちらですか。つぎの中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの1～4の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|--------------------|
| 1. 松任 | 3. 鶴来 |
| 2. 美川 | 4. 河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰 |

問4 あなたの年齢は何歳ですか。〔2014（平成26）年10月1日現在でお答えください〕

満 さい
 歳

問5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

人家族

問6 あなたが同居されているご家族を、つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。ただし、亡くなっているかたは除いてください。

- | | | |
|-------------|-------------|----------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 5. 配偶者の父母 | 9. 配偶者の祖父母 |
| 2. 子ども | 6. 自分の兄弟姉妹 | 10. 孫 |
| 3. 子どもの配偶者 | 7. 配偶者の兄弟姉妹 | 11. その他 |
| 4. 自分の父母 | 8. 自分の祖父母 | 12. あてはまる人はいない |

問7 あなたのお住まいについてお聞きします。

(1) 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て住宅） | 4. グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム |
| 2. 持ち家（集合住宅〔マンションなど〕） | 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション |
| 3. 市営・県営などの公的賃貸住宅 | 6. その他（具体的に： ） |

(2) これからの生活をどこで送りたいですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 持ち家（一戸建て住宅） | 5. 民間の借家・賃貸アパート・マンション |
| 2. 持ち家（集合住宅〔マンションなど〕） | 6. 入所施設 |
| 3. 市営・県営などの公的賃貸住宅 | 7. その他（具体的に： ） |
| 4. グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム | |

■あなたの障害の種類、等級(程度)などについてお聞きします。

問8 あなたの療育手帳についてお聞きします。

- (1) あなたの療育手帳の判定は、つぎのいずれですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. A

2. B 1

3. B 2

- (2) あなたが療育手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

満

--	--

歳

問9 (1) あなたは、療育手帳のほかに、身体障害者手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問9 (2) へ

2. 持っていない⇒問10へ

- (2) 【問9 (1) で1と答えた方にのみお聞きします。】身体障害者手帳の等級は、総合等級では何級ですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1級

3. 3級

5. 5級

2. 2級

4. 4級

6. 6級

- (3) では、あなたの障害はどのような障害ですか。つぎの1～5の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 視覚障害

4. 肢体不自由

2. 聴覚障害、平衡機能障害

5. 内部障害〔心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓、免疫機能の障害など〕

3. 音声・言語機能障害、そしゃく機能障害

- (4) あなたの障害の原因はなんですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 交通事故

4. 先天性(生まれつき)

2. 労働災害

5. 疾病

3. その他の事故

6. その他()

問10 (1) あなたは、療育手帳のほかに、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

1. 持っている⇒問10 (2) へ

2. 持っていない⇒問11へ

- (2) 【問10 (1) で1と答えた方にのみお聞きします。】では、精神障害者保健福祉手帳の等級は、何級ですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1級

2. 2級

3. 3級

問 1 1 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

問 1 2 あなたは発達障害（自閉症、学習障害など）の診断を受けていますか。

1. はい

2. いいえ

問 1 3 障害支援区分についてお聞きします。

(1) あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

1. 受けている⇒問 1 3 (2) へ

2. 受けていない⇒問 1 4 へ

(2) 【問 1 3 (1) で1と答えた方にのみお聞きします。】その障害支援区分は、つぎのどれにあたりますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 区分1

5. 区分5

2. 区分2

6. 区分6

3. 区分3

7. わからない

4. 区分4

■あなたの収入の状況についてお聞きします。

問 1 4 あなたは何により生活費を得ていますか。つぎの1～11の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め先の給与や賃金

5. 事業収入（自営業など）

9. 特別障害者手当

2. 通所施設・作業所などの工賃

6. 財産収入（家賃など）

10. 生活保護

3. 同居家族の扶養

7. 障害年金

11. その他（

4. 別居家族や親戚の援助

8. 障害年金以外の年金

）

問 1 5 あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 良い

4. どちらかといえば悪い

2. どちらかといえば良い

5. 悪い

3. 良くも悪くもない

■あなたの日常生活上の支援者についてお聞きします。

問16 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。

(1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。				(2) 【問16(1)で2か3と答えた場合にお答えください。】では、実際に支援をお願いするのはどなたですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～4の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。				
	1. 自分でできる	2. ときどき支援が必要	3. つねに支援が必要	→	1. 家族や親戚	2. 友人・近所の人・ボランティア	3. ヘルパー・職員	4. その他()
a. 食事をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4
b. トイレを利用するとき	1	2	3	→	1	2	3	4
c. 薬を飲んだり保管するとき	1	2	3	→	1	2	3	4
d. 入浴するとき	1	2	3	→	1	2	3	4
e. 着替えをするとき	1	2	3	→	1	2	3	4
f. 掃除・洗濯をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4
g. 炊事をするとき	1	2	3	→	1	2	3	4
h. 外出するとき	1	2	3	→	1	2	3	4
i. 家の中で移動するとき	1	2	3	→	1	2	3	4
j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき	1	2	3	→	1	2	3	4
k. 生活費などお金の管理	1	2	3	→	1	2	3	4
l. 日常の暮らしに必要な事務手続き	1	2	3	→	1	2	3	4
m. 緊急時に避難・連絡したいとき	1	2	3	→	1	2	3	4

問17 あなたの日常生活上の主な支援者についておたずねします。

(1) 主な支援者は、つぎのうちどなたですか。つぎの1～12の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(夫・妻)	5. 配偶者の父母	9. 配偶者の祖父母
2. 子ども	6. 自分の兄弟姉妹	10. 孫
3. 子どもの配偶者	7. 配偶者の兄弟姉妹	11. 支援者はいない⇒問18へ
4. 自分の父母	8. 自分の祖父母	12. その他()

- (2) 主な支援者に対して必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの1～10の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 仕事ができるようなサポート	6. 経済的な援助
2. 外出できるようなサポート	7. 相談する相手
3. 代わりに支援を頼めること	8. 緊急時のサポート
4. 支援者本人が自分の時間を持てるようにすること	9. 特にな
5. 支援の方法に関するアドバイス	10. その他 ()

- (3) 主な支援者が高齢、病気などで将来支援ができなくなった場合は、どうしますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 親族の支援を受ける
2. ホームヘルパーなどを利用し、自宅で暮らしたい
3. グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい
4. 施設に入所する
5. その他 ()

- 問18 あなたは悩みや困ったことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの1～22の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族	12. 発達相談センター
2. 親戚	13. 配偶者の兄弟姉妹
3. 友人・知人	14. 高齢者支援センター
4. 市役所、児童相談所などの行政機関	15. 社会福祉協議会
5. 障害者団体、患者団体や家族会	16. 医師や看護師などの医療関係者
6. 民生委員・児童委員	17. 学校の先生
7. 障害者相談員	18. 職場の人
8. 相談支援事業所	19. 障害者就業・生活支援センター
9. 施設や作業所の職員	20. 相談したいができない(しない)
10. グループホームの世話人	21. 悩みや困ったことはない
11. 居宅介護のヘルパー	22. その他 ()

- 問19 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、そうじなどの支援を受けたりする居宅介護(ホームヘルプサービス)の利用について、あてはまる番号に○をつけてください。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない
5. サービスについて知らない

■お仕事についてお聞きします。

問20 あなたの^{しごと}仕事や^{つうがく}通学の^{じょうきよう}状況はつぎのどれにあたりますか。つぎの1～3の中からあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. ^{しごと} 仕事をしている（ ^{しゅうろういこうしえん} 就労移行支援・ ^{しゅうろうけいぞくしえん} 就労継続支援・ ^{さぎょうしょ} 作業所などを含む）⇒問21（1）へ |
| 2. ^{しごと} 仕事はしていない⇒問22（1）へ |
| 3. ^{つうがく} 通学・ ^{しよくぎょうくんれんちゆう} 職業訓練中⇒問23へ |

問21 【問20で1と答えた方^{かた}にのみお聞きします。】

（1）あなたは現在、どのような^{がた}形で働^{はたら}いていますか。つぎの1～6の中からあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. ^{じょうきん} 常勤（ ^{せいぎ} 正規の ^{しよくいん} 職員・ ^{しゃいん} 社員） | 4. ^{しゅうろういこうしえん} 就労移行支援・ ^{しゅうろうけいぞくしえん} 就労継続支援・ ^{さぎょうしょ} 作業所など |
| 2. パート、アルバイト、 ^{りんじやと} 臨時雇い（ ^{はけんしゃいん} 派遣社員を含む） | 5. ^{ないしよく} 内職 |
| 3. ^{いえ} 家の仕事（ ^{しごと} 自営業、 ^{てつだい} 手伝い） | 6. その他（ ^た ） |

（2）仕事の^{しごと}悩みや^{なや}困^{こま}っていることがありますか。つぎの1～10の中からあてはまる^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. ^{しごと} 仕事（ ^{こま} 細かい ^{さぎょう} 作業など）がむずかしい |
| 2. ^{しょうがい} 障害について ^{りかい} 理解や ^{きょうりよく} 協力をしてもらえない |
| 3. ^{しよくば} 職場までの ^{つうきん} 通勤が ^{ふべん} 不便である（ ^{きより} 距離が ^{とお} 遠い、 ^{こうつうしゅだん} 交通手段が ^{かぎ} 限られているなど） |
| 4. ^{しよくば} 職場の ^{たてもの} 建物や ^{つくえ} 机などの ^{せつび} 設備が ^{つか} 使いにくい |
| 5. ^{しよくば} 職場での ^{しよくば} コミュニケーションがうまくとれない |
| 6. ^{しょうがい} 障害がない人と比べて ^{ひと} 仕事の内容や ^{くら} 昇進などに ^さ 差がある |
| 7. ^{しょうがい} 障害がない人と比べて ^{ひと} 給料が ^{きゅうりよう} 安い |
| 8. ^{しよくば} 職場での ^{にんげんかんけい} 人間関係がうまくいかない |
| 9. とくに ^{こま} 困っていることや ^{なや} 悩みはない |
| 10. その他（ ^た ） |

（3）就^{しゅうしよく}職するとき、どこの^{しえん}支援^うを受けましたか。つぎの1～8の中からあてはまる^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|---|
| 1. ハローワーク | 5. ^{こまつしょうがいしゃしゅうぎよう} 小松障害者就業・ ^{せいかつしえん} 生活支援センター |
| 2. ^{がっこう} 学校 | 6. ^{しゅうろういこうしえんじぎょうしょ} 就労移行支援事業所 |
| 3. ^{いしかわしょうがいしゃしよくぎよう} 石川障害者職業センター | 7. ^{しえん} 支援を受けていない |
| 4. ^{かなざわしょうがいしゃしゅうぎよう} 金沢障害者就業・ ^{せいかつしえん} 生活支援センター | 8. その他（ ^た ） |

(4) あなたの^{しごと}仕事による1^{ねんかん}年間の^{しゅうにゆう}収入は、つぎのどれにあたりますか。つぎの1～14の中からあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

1. なし	8. 500～600万円未満 ^{まんえんみまん}
2. 50万円未満 ^{まんえんみまん}	9. 600～700万円未満 ^{まんえんみまん}
3. 50～100万円未満 ^{まんえんみまん}	10. 700～800万円未満 ^{まんえんみまん}
4. 100～200万円未満 ^{まんえんみまん}	11. 800～900万円未満 ^{まんえんみまん}
5. 200～300万円未満 ^{まんえんみまん}	12. 900～1000万円未満 ^{まんえんみまん}
6. 300～400万円未満 ^{まんえんみまん}	13. 1000万円以上 ^{まんえんいじょう}
7. 400～500万円未満 ^{まんえんみまん}	14. わからない

問22 【問20で2と答えた^{こた}方にのみお聞きします。】

(1) 働いていない理由^{りゆう}はなんですか。つぎの1～8の中からもっともあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

1. 働く ^{はたら} 所 ^{ところ} がないため	5. 病気 ^{びょうき} のため
2. 通勤 ^{つうきん} が困難 ^{こんなん} なため	6. 重度 ^{じゅうど} の障害 ^{しょうがい} のため
3. 自分 ^{じぶん} にあった仕事 ^{しごと} がないため	7. 家事 ^{かじ} に専念 ^{せんねん} しているため
4. 高齢 ^{こうれい} のため	8. その他 ^た ()

(2) 今後^{こんご}、働きたいとお考え^{かんが}ですか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

1. 働きたい ^{はたら}	4. 働く必要 ^{ひつよう} がない
2. 働きたいが、自分 ^{じぶん} の心身 ^{しんしん} の状況 ^{じょうきょう} などを考え ^{かんが} るとむずかしい	5. わからない
3. 働きたくない ^{はたら}	

(3) どのような形^{かたち}で働きたいと思ひますか。つぎの1～6の中からもっともあてはまる^{ばんごう}番号1つに○をつけてください。

1. 常勤 ^{じょうきん} （正規 ^{せいぎ} の職員 ^{しよくいん} ・社員 ^{しゃいん} ）	4. 就労移行支援 ^{しゅうろういこうしえん} ・就労継続支援 ^{しゅうろうけいぞくしえん} ・作業所 ^{さぎょうしょ} など
2. パート、アルバイト、臨時雇い ^{りんじやと} （派遣社員 ^{はけんしゃいん} を含む ^{ふく} ）	5. 内職 ^{ないしよく}
3. 家の仕事 ^{いえ} （自営業 ^{しごと} 、手伝い ^{じえいぎよう} ）	6. その他 ^た ()

問23 【すべての^{かた}方^きにお聞きします。】あなたは障害^{しょうがい}のある人^{ひと}が就労^{しゅうろう}しやすくするために、なにが必要^{ひつよう}と考^{かんが}えますか。つぎの1～7の中からもっともあてはまる^{ばんごう}番号すべてに○をつけてください。

1. 就労 ^{しゅうろう} に必要な技術 ^{ひつよう} や知識 ^{ぎじゆつ} を身 ^み につけるための訓練 ^{くんれん} の場 ^ば
2. 通勤 ^{つうきん} するための移動 ^{いどう} サービス
3. 行政 ^{ぎょうせい} の雇用 ^{こようしえん} 支援 ^{せいど} （ジョブコーチ制度 ^{きぎよう} 、企業 ^{じよせいせいど} への助成制度 ^{じよせいせいど} など）
4. 障害 ^{しょうがい} のある人 ^{ひと} の雇用 ^{こよう} に対する雇用者側 ^{こようしやがわ} の理解 ^{りかい} と努力 ^{どりよく}
5. 障害 ^{しょうがい} のある人 ^{ひと} 自身の就労 ^{しゅうろう} に対する意識 ^{いしき} 改革 ^{かいかく}
6. 市民 ^{しみん} に対する障害 ^{しょうがい} のある人 ^{ひと} の就労 ^{しゅうろう} に関する啓発 ^{けいはつ}
7. その他 ^た ()

がいにしゅつ き
■外出についてお聞きします。

問24 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。つぎの1～6の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 月に3～4回 |
| 2. 週に4～5回 | 5. 月に1～2回 |
| 3. 週に2～3回 | 6. ほとんど外出していない |

問25 あなたの主な外出先・用件はどちらですか。つぎの1～10の中からもっともあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 通院 | 6. 金融機関 |
| 2. 通学・通勤 | 7. 団体等の会議・催し |
| 3. 買い物 | 8. 余暇活動 |
| 4. 親戚・友人・知人宅 | 9. デイサービスなどの福祉施設 |
| 5. 役所 | 10. その他 () |

問26 あなたは外出されるとき、主にどなたと外出されますか。つぎの1～9の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 単独（白杖歩行・盲導犬を含む） | 6. 友人・知人 |
| 2. 家族・親戚 | 7. 近所の人 |
| 3. ガイドヘルパー | 8. ボランティア |
| 4. ホームヘルパー | 9. その他 () |
| 5. デイなどの施設の職員 | |

問27 あなたの外出のときの主な移動手段は何ですか。つぎの1～8の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------|------------------|
| 1. 徒歩 | 5. タクシー |
| 2. 自転車 | 6. 自家用車（自分で運転する） |
| 3. バス | 7. 自家用車（乗せてもらう） |
| 4. 電車 | 8. その他 () |

問28 外出時における移動の支援などのお手伝いをする同行援護または移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 利用している | 4. 利用したことはなく、今後も利用しない |
| 2. 今は利用していないが、過去に利用したことがある | 5. サービスについて知らない |
| 3. 利用したことはないが、今後利用したい | |

問 2 9 あなたが外出するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの 1 ～ 11 のなかからあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない
2. 乗物や公共施設の案内表示がわかりにくい
3. 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い
4. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない
5. 車などに危険を感じる
6. まわりが気にかかる
7. 支援者がいないので外出できない
8. 人とのコミュニケーションがとりにくい
9. ほとんど外出しないのでわからない
10. とくに困ることはない
11. その他 ()

問 3 0 文化やレジャーなどの活動についてお聞きします。

	(1) あなたは、この 1 年間にどのようなことをしましたか。a ～ j のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。		(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a ～ j のそれぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。	
	1. した	2. しない	1. したい	2. したくない
a. コンサートの鑑賞や観劇など	1	2	1	2
b. スポーツ教室、大会などへの参加	1	2	1	2
c. 旅行・キャンプ・つりなど	1	2	1	2
d. 学習活動	1	2	1	2
e. 趣味の同好会への参加	1	2	1	2
f. ボランティアなどの社会活動	1	2	1	2
g. 障害のある仲間との交流 (ふれあい)	1	2	1	2
h. 町会・地域活動	1	2	1	2
i. 特になし	1	2	1	2
j. その他 ()	1	2	1	2

■災害時の対応についてお聞きします。

問 3 1 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

■あなたの医療や福祉サービスなどについてお聞きします。

問33 あなたは医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. 医療費の負担が大きい
6. とくに困っていることはない
7. その他 ()

問34 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの1～13の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 8. 社会福祉協議会 |
| 2. 身体障害者相談員 | 9. 介護保険のケアマネージャー |
| 3. 相談支援事業所・相談支援専門員 | 10. 同じ障害のある人の団体・グループ |
| 4. 市役所の相談窓口 | 11. 相談するところがない |
| 5. 保健所・福祉健康センター | 12. どこに相談に行ったらよいかわからない |
| 6. 医療機関 | 13. その他 () |
| 7. 障害福祉施設 | |

問35 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの1～17の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出（買物など）の支援をしてほしい
3. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
4. 障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい
5. 一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい
6. ジョブコーチ制度を充実させてほしい
7. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
8. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい
9. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
10. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
11. いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい
12. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
13. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
14. 福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
15. 円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい
16. とくにない
17. その他 ()

問36 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは何を受け入れたいと思いますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 調理 | 6. 病院などへの送迎・外出支援 |
| 2. 洗濯 | 7. 買い物 |
| 3. 部屋のそうじ・庭の手入れ | 8. 代筆・代読 |
| 4. 話し相手、相談相手 | 9. ボランティアのサービスは受け入れない |
| 5. 家屋内外の簡単な修理 | 10. その他（ ） |

■ここからは障害や差別についてお聞きします。

問37 障害に関する差別についてお聞きします。

(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

1. ある⇒問37(2)へ

2. ない⇒問38へ

(2) 【問37(1)で1と答えた方にのみお聞きします。】それはどのような分野での差別でしたか。つぎの1～9の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------|-----------|
| 1. 医療 | 4. 防災 | 7. 文化活動 |
| 2. 教育・療育 | 5. 情報バリアフリー | 8. 政治参加 |
| 3. 交通や建物のバリアフリー化 | 6. 行政手続き | 9. その他（ ） |

(3) それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えてください。

問38 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられています。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 合理的配慮の考え方について知っている |
| 2. 合理的配慮という言葉は聞いたことがある |
| 3. 合理的配慮については知らない |

問39 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの1～3の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 言葉だけは知っている | 3. 知らない |
|----------|---------------|---------|

問40 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a～dのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. そう 思う おも どちらかといえ ば	3. ど ちら と も い え な い	4. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも	5. そ う 思 わ な い おも
a. 障害のある人の雇用をうながすためには、国や 地方自治体からの助成金が必要だ	1	2	3	4	5
b. 企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的 に整備しなければならない	1	2	3	4	5
c. 企業が、障害のある人にとって働きにくい職場の施設 を改善しないことは差別である	1	2	3	4	5
d. 障害のある人に特化した就労支援が必要である	1	2	3	4	5

問41 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの1～6の中から、もっとも重要なこと、その次に重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

1. 障害のある人の権利や尊厳を守ること
2. 障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること
3. 障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること
4. 障害のある人に世間並みの住居を提供すること
5. 障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること
6. 障害のある人をケアしている人を支援すること

もっとも重要なこと

次に重要なこと

問42 白山市の人びとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。

問43 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a～fのそれぞれについて、つぎの1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. そう 思う おも どちらかといえ ば	3. ど ちら と も い え な い	4. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも	5. そ う 思 わ な い おも
a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う ひと しあわせ しょうがい うむ かん おも	1	2	3	4	5
b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ しょうがい ひと のぞ しょうがい ひと おな きょういく う	1	2	3	4	5
c. 「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることもあるため、別の表現に書き改める必要がある しょうがいじや ひょうげん ふてきせつ ひょうげん してき べつ ひょうげん か あらた ひつよう	1	2	3	4	5
d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ おな じかんばたら しょうがい せいが ひく しょうがい ひと しょうがい ひと おな ちんぎん	1	2	3	4	5
e. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ しょうがい ひと た ひと おな せきにん ぎむ は	1	2	3	4	5
f. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい ふたん おお しょうがい ひと はいりよ しゃかい のぞ	1	2	3	4	5

問44 政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～eのそれぞれについて、1～5の中からもっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. そう 思う おも どちらかといえ ば	3. ど ちら と も い え な い	4. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも	5. そ う 思 わ な い おも
a. 政府は、最低限の生活水準をすべての人に保障すべきである せいふ さいていげん せいかつすいじゆん ひと ほしょう	1	2	3	4	5
b. 政府は、働きたいというすべての人に働く機会を提供すべきである せいふ はたら ひと はたら きかい ていきよう	1	2	3	4	5
c. 政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ せいふ しょうがい ひと ちんぎん しょうがい ひと ひようどう ふたん	1	2	3	4	5
d. 政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せべきだ せいふ むだ おお みんかん まか	1	2	3	4	5
e. 政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ せいふ ゆた ひと ます ひと じよとく さ ちぢ たいさく と	1	2	3	4	5

問 4 5 差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～f のそれぞれについて、1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	1. そう 思う おも	2. そう 思う おも どちらかといえ ば	3. ど ちら と も い え な い	4. ど ちら か と い え ば そう 思 わ な い おも	5. そ う 思 わ な い おも
a. 差別について深く知ることによって、差別をなくすことができる	1	2	3	4	5
b. 差別される側の気持ちを考えることは難しい	1	2	3	4	5
c. いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある	1	2	3	4	5
d. 差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない	1	2	3	4	5
e. 差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ	1	2	3	4	5
f. この世の中で、差別がなくなることはない	1	2	3	4	5

問 4 6 あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの 1～5 の中からもっともあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. とても低い	4. やや高い
2. やや低い	5. とても高い
3. どちらともいえない	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

以上で質問は終わります。

何かご記入もれはありませんか。ご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。

お忙しいところ、貴重なお時間をさいいただきありがとうございました。

障害福祉に関する意識調査（知的障害のある人）

単純集計表

問 1 このアンケートにご記入いただくのはどなたですか。つぎの 1 ～ 4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
ご本人が記入	39	26.7
ご家族が代筆	23	15.8
ご家族が本人に変わって回答	64	43.8
その他	20	13.7
合計(有効ケース)	146	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	148	

問 2 あなたの性別はどちらですか。

	度数	%
男性	66	44.9
女性	81	55.1
合計(有効ケース)	147	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	148	

問 3 あなたは白山市のどの地域にお住まいですか。つぎの 1 ～ 4 の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	度数	%
松任	85	63.4
美川	16	11.9
鶴来	25	18.7
河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰	8	6.0
合計(有効ケース)	134	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	148	

問 4 あなたの年齢は何歳ですか。〔2 0 1 4（平成 2 6）年 1 0 月 1 日現在でお答えください〕

	度数	%
10 代	8	5.6
20 代	42	29.3
30 代	33	22.9
40 代	31	21.5
50 代	14	9.7
60 代	15	10.4
70 代	1	0.7
合計(有効ケース)	144	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

問 5 あなたの世帯は、あなたを含めて何人家族ですか。

	度数	%
1	23	16.2
2	12	8.5
3	31	21.8
4	36	25.4
5	18	12.7
6	11	7.7
7	10	7.0
9	1	0.7
合計(有効ケース)	142	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	148	

問6 あなたが同居されているご家族を、つぎの1～12の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。ただし、亡くなっているかは除いてください。

	度数	%
配偶者（夫・妻）	7	4.9
子ども	5	3.5
子どもの配偶者	0	0
自分の父母	101	71.1
配偶者の父母	4	2.8
自分の兄弟姉妹	67	47.2
配偶者の兄弟姉妹	0	0
自分の祖父母	27	19.0
配偶者の祖父母	0	0
孫	1	0.7
その他	16	11.3
あてはまる人はいない	17	12.0
合計(有効ケース)	142	
無回答	6	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問7 あなたのお住まいについてお聞きます。

(1) 現在のお住まいは、つぎのなかのどれですか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家（一戸建て住宅）	101	68.7
持ち家（集合住宅）	0	0
市営・県営などの公的賃貸住宅	2	1.4
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	16	10.9
民間の借家・賃貸アパート・マンション	4	2.7
その他	24	16.3
合計(有効ケース)	147	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	148	

(2) これからの生活をどこで送りたいですか。つぎの1～7の中からともともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
持ち家（一戸建て住宅）	66	46.2
持ち家（集合住宅）	4	2.8
市営・県営などの公的賃貸住宅	2	1.4
グループホーム・ケアホーム・福祉ホーム	34	23.8
民間の借家・賃貸アパート・マンション	5	3.5
入所施設	28	19.6
その他	4	2.8
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

問8 あなたのお持ちの療育手帳についてお聞きます。

(1) あなたの療育手帳の判定は、次のいずれですか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
A	65	46.1
B 1	44	31.2
B 2	29	20.6
B	3	2.1
合計(有効ケース)	141	100.0
無回答	7	
合計(全ケース)	148	

(2) あなたが療育手帳をはじめて取得したのは何歳でしたか。

	度数	%
10歳未満	33	26.4
10代	57	45.6
20代	19	15.2
30代	11	8.8
40代	4	3.2
50代	1	0.8
合計(有効ケース)	125	100.0
無回答	23	
合計(全ケース)	148	

問 9 (1) あなたは、療育手帳のほかに、身体障害者手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている	32	21.8
持っていない	115	78.2
合計(有効ケース)	147	100.0
無回答	1	
合計(全ケース)	148	

(2) あなたの身体障害者手帳の等級は、総合等級では何級ですか。つぎの 1 ～ 6 の中からあてはまる番号 1 つに をつけてください。

	度数	%
1 級	15	48.4
2 級	8	25.8
3 級	5	16.1
4 級	1	3.2
5 級	1	3.2
6 級	1	3.2
合計(有効ケース)	31	100.0
無回答・非該当	117	
合計(全ケース)	148	

(3) では、あなたの障害はどのような障害ですか。つぎの 1 ～ 5 の中からあてはまる番号 すべてに 〇 をつけてください。

	度数	%
視覚障害	6	18.8
聴覚障害、平衡機能障害	4	12.5
音声・言語機能障害、そしゃく機能障害	3	9.4
肢体不自由	22	68.8
内部障害	2	6.3
合計(有効ケース)	32	
無回答・非該当	116	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(4) あなたの障害の原因はなんですか。つぎの 1 ～ 6 の中からあてはまる番号 1 つに 〇 をつけてください。

	度数	%
交通事故	0	0
労働災害	0	0
その他の事故	4	13.3
先天性	18	60.0
疾病	2	6.7
その他	6	20.0
合計(有効ケース)	30	100.0
無回答・非該当	118	
合計(全ケース)	148	

問 10 (1) あなたは、療育手帳のほかに、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。

	度数	%
持っている	1	0.7
持っていない	141	99.3
合計(有効ケース)	142	100.0
無回答	6	
合計(全ケース)	148	

(2) では、精神障害者福祉保健手帳の等級は何級ですか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号 1 つに 〇 をつけてください。

	度数	%
1 級	1	100.0
2 級	0	0
3 級	0	0
合計(有効ケース)	1	100.0
無回答・非該当	147	
合計(全ケース)	148	

問 11 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

	度数	%
はい	6	4.4
いいえ	131	95.6
合計(有効ケース)	137	100.0
無回答	11	
合計(全ケース)	148	

問 1 2 あなたは発達障害（自閉症、学習障害など）の診断を受けていますか。

	度数	%
はい	40	30.1
いいえ	93	69.9
合計(有効ケース)	133	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	148	

問 1 3 障害支援区分についてお聞きます。

(1) あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。

	度数	%
受けている	68	51.5
受けていない	64	48.5
合計(有効ケース)	132	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	148	

(2) その障害支援区分は、つぎのどれにあたりますか。つぎの 1 ～ 7 の中からあてはまる番号 1 2 に○をつけてください。

	度数	%
区分 1	1	1.5
区分 2	6	9.1
区分 3	10	15.2
区分 4	14	21.2
区分 5	13	19.7
区分 6	16	24.2
わからない	6	9.1
合計(有効ケース)	66	100.0
無回答・非該当	82	
合計(全ケース)	148	

問 1 4 あなたは何により生活費を得ていますか。つぎの 1 ～ 1 1 の中からあてはまる番号 す べ て に ○をつけてください。

	度数	%
勤め先の給与や賃金	27	18.2
通所施設・作業所などの工賃	50	33.8
同居家族の扶養	59	39.9
別居家族や親戚の援助	0	0
事業収入	0	0
財産収入	0	0
障害年金	117	79.1
障害年金以外の年金	2	1.4
特別障害者手当	10	6.8
生活保護	3	2.0
その他	1	0.7
合計(有効ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 1 5 あなたのご家庭の、現在の暮らし向きについてどう思われますか。つぎの 1 ～ 5 の中からあてはまる番号 1 つ に ○をつけてください。

	度数	%
良い	40	27.8
どちらかといえば良い	33	22.9
良くも悪くもない	46	31.9
どちらかといえば悪い	20	13.9
悪い	5	3.5
合計(有効ケース)	144	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

問16 あなたは、どのようなときに、どなたの支援が必要ですか。
(1) 支援が必要と思うのは、どのようなときですか。a～mのそれぞれについて、つぎの1～3の中から最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 食事をするとき

	度数	%
自分ができる	95	65.5
ときどき支援が必要	18	12.4
つねに支援が必要	32	22.1
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

b. トイレを利用するとき

	度数	%
自分ができる	95	65.1
ときどき支援が必要	23	15.8
つねに支援が必要	28	19.2
合計(有効ケース)	146	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	148	

c. 薬を飲んだり保管するとき

	度数	%
自分ができる	56	38.6
ときどき支援が必要	27	18.6
つねに支援が必要	62	42.8
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

d. 入浴するとき

	度数	%
自分ができる	81	55.9
ときどき支援が必要	27	18.6
つねに支援が必要	37	25.5
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

e. 着替えをするとき

	度数	%
自分ができる	89	61.4
ときどき支援が必要	25	17.2
つねに支援が必要	31	21.4
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

f. 掃除・洗濯をするとき

	度数	%
自分ができる	33	22.8
ときどき支援が必要	35	24.1
つねに支援が必要	77	53.1
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

g. 炊事をするとき

	度数	%
自分ができる	19	13.5
ときどき支援が必要	17	12.1
つねに支援が必要	105	74.5
合計(有効ケース)	141	100.0
無回答	7	
合計(全ケース)	148	

h. 外出するとき

	度数	%
自分ができる	30	20.5
ときどき支援が必要	35	24.0
つねに支援が必要	81	55.5
合計(有効ケース)	146	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	148	

i. 家の中で移動するとき

	度数	%
自分ができる	109	76.2
ときどき支援が必要	18	12.6
つねに支援が必要	16	11.2
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

j. 家族以外の人とコミュニケーションするとき

	度数	%
自分ができる	41	28.7
ときどき支援が必要	50	35.0
つねに支援が必要	52	36.4
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

k. 生活費などのお金の管理

	度数	%
自分ができる	14	9.7
ときどき支援が必要	19	13.1
つねに支援が必要	112	77.2
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

l. 日常の暮らしに必要な事務手続き

	度数	%
自分ができる	8	5.6
ときどき支援が必要	19	13.3
つねに支援が必要	116	81.1
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

m. 緊急時に避難・連絡したいとき

	度数	%
自分ができる	19	13.2
ときどき支援が必要	23	16.0
つねに支援が必要	102	70.8
合計(有効ケース)	144	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

問 1 7 あなたの日常生活を支援してくれる人についておたずねします。

(1) 主な支援者は、つぎのうちどなたですか。つぎの 1 ～ 1 2 の中からひとつもあてはまる番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195

(2) 主な支援者に就いて必要だと思われるケアやサポートがありますか。つぎの1～10の中から
もっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
仕事ができるようなサポート	11	8.0
外出できるようなサポート	14	10.1
代わりに支援を頼めること	20	14.5
支援者本人が自分の時間を持てるようにすること	4	2.9
支援の方法に関するアドバイス	6	4.3
経済的な援助	16	11.6
相談する相手	14	10.1
緊急時のサポート	23	16.7
特にない	27	19.6
その他	3	2.2
合計(有効ケース)	138	100.0
無回答	10	
合計(全ケース)	148	

(3) 主な支援者が高齢、病気などで将来介助ができなくなつた場合は、どうしますか。つぎの1～
5の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
親族の支援を受ける	24	18.3
ホームヘルパーなどを利用し、自宅で暮らしたい	15	11.5
グループホーム・ケアホーム・福祉ホームで暮らしたい	47	35.9
施設に入所する	36	27.5
その他	9	6.9
合計(有効ケース)	131	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	148	

問18 あなたは悩みや困つたことがある場合、どちらに相談されますか。つぎの1～22の中からあ
てはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
家族	102	70.3
親戚	18	12.4
友人・知人	17	11.7
市役所、児童相談所などの行政機関	29	20.0
障害者団体、患者団体や家族会	7	4.8
民生委員・児童委員	6	4.1
障害者相談員	19	13.1
相談支援事業所	20	13.8
施設や作業所の職員	73	50.3
グループホームの世話人	13	9.0
居宅介護のヘルパー	1	0.7
発達相談センター	4	2.8
配偶者の兄弟姉妹	2	1.4
高齢者支援センター	1	0.7
社会福祉協議会	6	4.1
医師や看護師などの医療関係者	12	8.3
学校の先生	2	1.4
職場の人	14	9.7
障害者就業・生活支援センター	12	8.3
相談したいができない(しない)	7	4.8
悩みや困つたことはない	2	1.4
その他	8	5.5
合計(有効ケース)	145	
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 19 自宅で入浴、排せつ、食事などの支援・介助を受けたり、調理、洗濯、そうじなどの支援を受けたりする居宅介護（ホームヘルプサービス）の利用について、つぎの1～5の中から最もともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
利用している	9	6.8
今は利用していないが、利用したことはある	8	6.0
利用したことはないが、今後利用したい	45	33.8
利用したことはなく、今後も利用しない	41	30.8
サービスについて知らない	30	22.6
合計(有効ケース)	133	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	148	

問 20 あなたの仕事や通学状況はつぎのどれにあたりますか。つぎの1～3の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
仕事をしている	100	68.5
仕事はしていない	43	29.5
通学・職業訓練中	3	2.1
合計(有効ケース)	146	100.0
無回答	2	
合計(全ケース)	148	

問 21 (1) あなたは現在、どのような形で働いていますか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
常勤	5	5.1
パート、アルバイト、臨時雇い	19	19.2
家の仕事	1	1.0
就労移行支援・就労継続支援・作業所など	73	73.7
内職	0	0
その他	1	1.0
合計(有効ケース)	99	100.0
無回答・非該当	49	
合計(全ケース)	148	

(2) 仕事の悩みや困っていることがありますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
仕事が難しい	17	17.7
障害について理解や協力をしてもらえない	7	7.3
職場までの通勤が不便である	10	10.4
職場の建物や机などの設備が使いにくい	2	2.1
職場でのコミュニケーションがうまくとれない	23	24.0
障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある	6	6.3
障害がない人と比べて給料が安い	25	26.0
職場での人間関係がうまくいかない	13	13.5
とくに困っていることや悩みはない	32	33.3
その他	3	3.1
合計(有効ケース)	96	
無回答・非該当	52	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(3) 就職するときに、どこかの支援を受けましたか。つぎの1～8の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
ハローワーク	21	23.3
学校	43	47.8
石川障害者職業センター	13	14.4
金沢障害者就業・生活支援センター	4	4.4
小松障害者就業・生活支援センター	2	2.2
就労移行支援事業所	16	17.8
支援を受けていない	12	13.3
その他	10	11.1
合計(有効ケース)	90	
無回答・非該当	58	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

(4) あなたの仕事による1年間の収入は、つぎのどれにあたりますか。つぎの1～14の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
なし	4	4.0
50万円未満	62	62.6
50～100万円未満	15	15.2
100～200万円未満	12	12.1
200～300万円未満	1	1.0
300～400万円未満	0	0
400～500万円未満	0	0
500～600万円未満	0	0
600～700万円未満	0	0
700～800万円未満	0	0
800～900万円未満	0	0
900～1000万円未満	0	0
1000万円以上	0	0
わからない	5	5.1
合計(有効ケース)	99	100.0
無回答・非該当	49	
合計(全ケース)	148	

問22

(1) 働いていない理由はなんですか。つぎの1～8の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
働く所がないため	6	14.6
通勤が困難なため	0	0
自分にあった仕事がないため	3	7.3
高齢のため	4	9.8
病気のため	2	4.9
重度の障害のため	20	48.8
家事に専念しているため	0	0
その他	6	14.6
合計(有効ケース)	41	100.0
無回答・非該当	107	
合計(全ケース)	148	

(2) 今後、働きたいとお考えですか。つぎの1～5の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
働きたい	5	14.3
働きたいが、自分の心身の状況などを考えると難しい	11	31.4
働きたくない	4	11.4
働く必要がない	6	17.1
わからない	9	25.7
合計(有効ケース)	35	100.0
無回答	113	
合計(全ケース)	148	

(3) どのような形で働きたいと思いますか。つぎの1～6の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
常勤	1	5.3
パート・アルバイト・臨時雇い	3	15.8
家の仕事	1	5.3
就労移行支援・就労継続支援・作業所など	7	36.8
内職	0	0
その他	7	36.8
合計(有効ケース)	19	100.0
無回答・非該当	129	
合計(全ケース)	148	

問23 あなたは障害のある人が就労しやすくするため、何が必要と考えますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
就労に必要な技術や知識を身につけるための訓練の場合	58	44.6
通勤するための移動サービス	47	36.2
行政の雇用支援	54	41.5
障害のある人の雇用に対する雇用者側の理解と努力	81	62.3
障害のある人自身の就労に対する意識改革	34	26.2
市民に対する障害のある人の就労に関する啓発	43	33.1
その他	8	6.2
合計(有効ケース)	130	
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 2 4 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。つぎの1～6の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
ほぼ毎日	61	42.1
週に4～5回	25	17.2
週に2～3回	14	9.7
月に3～4回	23	15.9
月に1～2回	21	14.5
ほとんど外出していない	1	0.7
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

問 2 5 あなたの主な外出先・用件はどちらですか。つぎの1～10の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
通院	46	31.5
通学・通勤	67	45.9
買い物	104	71.2
親戚・友人・知人宅	26	17.8
役所	5	3.4
金融機関	11	7.5
団体等の会議・催し	9	6.2
余暇活動	55	37.7
デイサービスなどの福祉施設	23	15.8
その他	24	16.4
合計(有効ケース)	146	
無回答	2	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 2 6 あなたは外出されるとき、主にどなたと外出されますか。つぎの1～9の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
単独	19	13.1
家族・親戚	65	44.8
ガイドヘルパー	16	11.0
ホームヘルパー	0	0
デイなどの施設の職員	30	20.7
友人・知人	6	4.1
近所の人	0	0
ボランティア	0	0
その他	9	6.2
合計(有効ケース)	145	100.0
無回答	3	
合計(全ケース)	148	

問 2 7 あなたの外出のときの主な移動手段は何ですか。つぎの1～8の中からもっともあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
徒歩	14	9.7
自転車	16	11.1
バス	8	5.6
電車	5	3.5
タクシー	8	5.6
自家用車（自分で運転する）	4	2.8
自家用車（乗せてもらう）	76	52.8
その他	13	9.0
合計(有効ケース)	144	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

問 2 8 あなたは外出する時に、移動の支援などのお手伝いをする移動支援事業などの障害福祉サービスを利用していますか。つぎの 1 ～ 5 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに**○をつけてください。

	度数	%
利用している	53	37.9
今は利用していないが、過去に利用したことがある	12	8.6
利用したことはないが、今後利用したい	20	14.3
利用したことはなく、今後も利用しない	34	24.3
サービスについて知らない	21	15.0
合計(有効ケース)	140	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	148	

問 2 9 あなたが外出するうえで、なにか困っていることがありますか。つぎの 1 ～ 1 1 の中からあてはまる番号 **すべてに**○をつけてください。

	度数	%
バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない 乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい 道路や駅に段差や階段、障害物などが多い 出入り口や階段、トイレなど建物が用意に利用できるよう改良されていない 車などに危険を感じる まわりが気にかかる 支援者がいないので外出できない 人とのコミュニケーションがとりにくい ほとんど外出しないのでわからない とくに困ることはない その他	20 19 24 19 30 26 12 42 4 29 11	14.9 14.2 17.9 14.2 22.4 19.4 9.0 31.3 3.0 21.6 8.2
合計(有効ケース)	134	
無回答	14	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 0 文化やレジャーなどの活動についてお聞きます。

(1) あなたは、この 1 年間にどのようなことをしましたか。a ～ j のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
した	40	30.3
しない	92	69.7
合計(有効ケース)	132	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	148	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
した	57	43.2
しない	75	56.8
合計(有効ケース)	132	100.0
無回答	16	
合計(全ケース)	148	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
した	94	67.6
しない	45	32.4
合計(有効ケース)	139	100.0
無回答	9	
合計(全ケース)	148	

d. 学習活動

	度数	%
した	23	17.8
しない	106	82.2
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
した	17	12.8
しない	116	87.2
合計(有効ケース)	133	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	148	

f. ボランティアなどの社会活動

	度数	%
した	17	13.2
しない	112	86.8
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

j. 障害のある仲間との交流

	度数	%
した	71	52.6
しない	64	47.4
合計(有効ケース)	135	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	148	

k. 町会・地域活動

	度数	%
した	36	27.9
しない	93	72.1
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

l. 特にない

	度数	%
した	10	30.3
しない	23	69.7
合計(有効ケース)	33	100.0
無回答・非該当	115	
合計(全ケース)	148	

m. その他

	度数	%
した	6	30.0
しない	14	70.0
合計(有効ケース)	20	100.0
無回答	128	
合計(全ケース)	148	

(2) 今後、どのようなことをしたいと思いますか。a～jのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。

a. コンサートの鑑賞や観劇など

	度数	%
したい	49	54.4
したくない	41	45.6
合計(有効ケース)	90	100.0
無回答	58	
合計(全ケース)	148	

b. スポーツ教室、大会などへの参加

	度数	%
したい	38	45.2
したくない	46	54.8
合計(有効ケース)	84	100.0
無回答	64	
合計(全ケース)	148	

c. 旅行・キャンプ・つりなど

	度数	%
したい	77	81.1
したくない	18	18.9
合計(有効ケース)	95	100.0
無回答	53	
合計(全ケース)	148	

d. 学習活動

	度数	%
したい	31	34.4
したくない	59	65.6
合計(有効ケース)	90	100.0
無回答	28	
合計(全ケース)	148	

e. 趣味の同好会への参加

	度数	%
したい	34	38.2
したくない	55	61.8
合計(有効ケース)	89	100.0
無回答	59	
合計(全ケース)	148	

f. ボランティアなど社会活動

	度数	%
したい	26	28.6
したくない	65	71.4
合計(有効ケース)	91	100.0
無回答	57	
合計(全ケース)	148	

g. 障害のある仲間との交流

	度数	%
したい	48	57.1
したくない	36	42.9
合計(有効ケース)	84	100.0
無回答	64	
合計(全ケース)	148	

h. 町会・地域活動

	度数	%
したい	33	38.4
したくない	53	64.6
合計(有効ケース)	86	100.0
無回答	62	
合計(全ケース)	148	

i. 特にない

	度数	%
したい	6	24.0
したくない	19	76.0
合計(有効ケース)	25	100.0
無回答・非該当	123	
合計(全ケース)	148	

j. その他

	度数	%
したい	7	36.8
したくない	12	63.2
合計(有効ケース)	19	100.0
無回答	129	
合計(全ケース)	148	

問 3 1 あなたの災害時の対応についておたずねします。

(1) 地震などの災害時の避難場所を、あなたは知っていますか。

	度数	%
知っている	48	33.6
知らない	95	66.4
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

(2) 地震などの災害時に、あなたは一人で避難できますか。つぎの 1 ～ 3 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに**○をつけてください。

	度数	%
できる	21	14.6
できない	90	62.5
わからない	33	22.9
合計(有効ケース)	144	100.0
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

(3) 家族が不在の場合または一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる方はいいますか。つぎの 1 ～ 3 の中からもっともあてはまる番号 **1 つに**○をつけてください。

	度数	%
いる	26	19.4
いない	53	39.6
わからない	55	41.0
合計(有効ケース)	134	100.0
無回答	14	
合計(全ケース)	148	

(4) 地震などの災害時にすぐに困ると思われることは何ですか。つぎの 1 ～ 2 の中からあてはまる番号 **すべてに**○をつけてください。

	度数	%
投薬や治療を受けられない	47	33.6
補装具の使用が困難になる	9	6.4
補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	17	12.1
自分の状況が周囲の人に理解してもらえない	73	52.1
安全なところまで、迅速に避難することができない	81	57.9
被害状況、避難所の場所、物資の入手方法などの情報が入ってこない	48	34.3
周囲の人とコミュニケーションがとれない	65	46.4
避難所の設備について不安	52	37.1
家族の安否情報がとりづらい	42	30.0
救助を求めることができない	55	39.3
とくにない	13	9.3
その他	9	6.4
合計(有効ケース)	140	
無回答	8	
合計(全ケース)	148	

*. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 2 白山市では、災害時要援護者に対する支援として、災害時要援護者マップを作成しています。

(1) このマップについて知っていますか。

	度数	%
知っている	32	22.4
知らない	111	77.6
合計(有効ケース)	143	100.0
無回答	5	
合計(全ケース)	148	

(2) では、災害時要援護者マップの作成に同意をされていますか。つぎの1～3の中から最もあてはまる番号**1つに**○をつけてください。

	度数	%
同意している	24	17.120
同意していない		14.3
わからない	96	68.6
合計(有効ケース)	140	100.0
無回答	8	
合計(全ケース)	148	

(3) 今後、マップ作成に同意するつもりはありますか。

	度数	%
同意するつもりはない	36	32.4
同意するつもりだ	75	67.6
合計(有効ケース)	111	100.0
無回答・非該当	37	
合計(全ケース)	148	

(4) マップ作成に同意するつもりはない理由は何ですか。つぎの1～7の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
支援が期待できないから	9	22.0
家族の支援を受けられるから	14	34.1
個人情報を知られたくない	7	17.1
依頼できる支援者がいないから	0	0
町内会や自主防災組織などが組織的な取り組みをしていないのでなんとなく不安だから	4	9.8
知っているが制度がよく理解できないため	08	19.5
その他	07	17.1
合計(有効ケース)	41	
無回答・非該当	107	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問33 あなたは医療のことで、なにか困っていることがありますか。つぎの1～7の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
通院するとき付き添いをしてくれる人がいない	6	4.3
意思・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない	50	36.2
医師・看護師などの指示などがむずかしくてよくわからない	28	20.3
専門的な治療をしてくれる病院が近くにない	14	10.1
医療費の負担が大きい	11	8.0
とくに困っていることはない	57	41.3
その他	19	13.8
合計(有効ケース)	138	
無回答	10	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問34 あなたは医療・福祉サービスなどについてどちらに相談していますか。つぎの1～13の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
民生委員・児童委員	3	2.1
身体障害者相談員	3	2.1
相談支援事業所・相談支援専門員	40	27.8
市役所の相談窓口	52	36.1
保健所・福祉健康センター	3	2.1
医療機関	17	11.8
障害福祉施設	53	36.8
社会福祉協議会	7	4.9
介護保険のケアマネージャー	4	2.8
同じ障害のある人の団体・グループ	24	16.7
相談するところがない	4	2.8
どこに相談に行ったらよいかわからない	15	10.4
その他	9	6.3
合計(有効ケース)	144	
無回答	4	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問35 あなたが、暮らしやすくなるために、とくにしてほしいことはどのようなことですか。つぎの1～17からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
毎日の生活の手助けがもっとほしい	14	10.1
外出の支援をしてほしい	24	17.3
障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい	61	43.9
障害のある人の働ける一般企業を増やしてほしい	38	27.3
一般企業で働くことが難しいので、就労支援施設などを増やしてほしい	26	18.7
ジョブコーチ制度を充実させてほしい	21	15.1
リハビリ訓練の場所を増やしてほしい	7	5.0
障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい	17	12.2
外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい	29	20.9
いつでもなんでも相談できる窓口を用意してほしい	41	29.5
いつでも何でも話し合える相談相手や仲間がほしい	35	25.2
年金などの経済的な援助を増やしてほしい	58	41.7
スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい	17	12.2
福祉サービス制度をもっとわかりやすく紹介してほしい	32	23.0
円滑なコミュニケーションができるように、障害の状況に応じた適切な支援を充実してほしい	40	28.8
とくにない	16	11.5
その他	8	5.8
合計(有効ケース)	139	
無回答	9	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問36 つぎのサービスをボランティアが行うとしたら、あなたは、どれを受け入れたいと思いますか。つぎの1～10の中からあてはまる番号**すべてに**○をつけてください。

	度数	%
調理	29	23.0
洗濯	22	17.5
部屋の掃除・庭の手入れ	27	21.4
話し相手、相談相手	43	34.1
家屋内外の簡単な修理	10	7.9
病院などへの送迎・外出支援	58	46.0
買い物	36	28.6
代筆・代読	15	11.9
ボランティアのサービスは受け入れない	12	9.5
その他	19	15.1
合計(有効ケース)	126	
無回答	22	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問37 障害に関する差別についてお聞きします。
(1) あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。

	度数	%
ある	74	56.9
ない	56	43.1
合計(有効ケース)	130	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

問 3 9 それほどのような分野での差別でしたか。つぎの 1 ～ 9 の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

	度数	%
医療	14	16.7
教育・療育	43	51.2
交通や建物のバリアフリー化	8	9.5
防災	1	1.2
情報バリアフリー	4	4.8
行政手続き	8	9.5
文化活動	4	4.8
政治参加	0	0
その他	18	21.4
合計(有効ケース)	84	
無回答・非該当	64	
合計(全ケース)	148	

＊. %は有効ケースに対する各項目ごとの度数の割合

問 3 10 それほどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的に教えてください。

	度数	%
記述あり	39	42.4
記述なし	53	57.6
合計(有効ケース)	92	100.0
非該当	56	
合計(全ケース)	148	

問 3 8 障害者権利条約では、障害のある人がない人と同じように生活するために過大な負担とならない範囲で行う配慮や工夫を「合理的配慮」としています。また、「合理的配慮」を行わないことは差別として位置づけられます。あなたは、このような「合理的配慮」について知っていましたか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
合理的配慮の考え方について知っている	5	3.7
合理的配慮という言葉は聞いたことがある	15	11.1
合理的配慮については知らない	115	85.2
合計(有効ケース)	135	100.0
無回答	13	
合計(全ケース)	148	

問 3 9 あなたは、障害のある人もない人も、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支えあって暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。つぎの 1 ～ 3 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
知っている	20	14.4
言葉だけは知っている	32	23.0
知らない	87	62.6
合計(有効ケース)	139	100.0
無回答	9	
合計(全ケース)	148	

問 4 0 障害と仕事に関する次のような意見についてどう思いますか。a ～ d のそれぞれについて、つぎの 1 ～ 5 の中からあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 障害のある人の雇用を促すためには、国や地方自治体からの助成金が必要だ

	度数	%
そう思う	71	54.6
どちらかといえばそう思う	35	26.9
どちらともいえない	20	15.4
どちらかといえばそう思わない	2	1.5
そう思わない	2	1.5
合計(有効ケース)	130	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

b. 企業は、障害のある人が働きやすい環境を積極的に整備しなければならぬ

	度数	%
そう思う	62	48.4
どちらかといえばそう思う	39	30.5
どちらともいえない	22	17.2
どちらかといえばそう思わない	5	3.9
そう思わない	0	0
合計(有効ケース)	128	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	148	

c. 企業が、障害のある人にとって働きやすい職場の施設を改善しないことは差別である

	度数	%
そう思う	47	37.0
どちらかといえばそう思う	31	24.4
どちらともいえない	42	33.1
どちらかといえばそう思わない	2	1.6
そう思わない	5	3.9
合計(有効ケース)	127	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	148	

d. 障害のある人に特化した就労支援が必要である

	度数	%
そう思う	75	58.1
どちらかといえばそう思う	34	26.4
どちらともいえない	17	13.2
どちらかといえばそう思わない	3	2.3
そう思わない	0	0
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

問 4 1 障害のある人を支援するための政策として、以下にあげた政策のうち、もっとも重要なことはどれだとお考えですか。つぎの 1 ～ 6 の中から、**もっとも**重要なこと、**その次に**重要なことの番号を回答欄のなかに記入してください。

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	57	42.9
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	37	27.8
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	24	18.0
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	2	1.5
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	5	3.8
障害のある人をケアしている人を支援すること	8	6.0
合計(有効ケース)	133	100.0
無回答	15	
合計(全ケース)	148	

次に重要なこと

	度数	%
障害のある人の権利や尊厳を守ること	17	13.2
障害のある人が世間並みの生活ができるように経済的に援助すること	28	21.7
障害のある人に働く機会を提供したり、働きやすい環境を整えたりすること	25	19.4
障害のある人に世間並みの住居を提供すること	7	5.4
障害のある人がさまざまな社会活動に参加することができるようにすること	10	7.8
障害のある人をケアしている人を支援すること	42	32.6
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

問 4 2 白山市の人びとに対して、障害への理解を広めるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下にご自由にご記入ください。

	度数	%
記述あり	37	25.0
記述なし	111	75.0
合計(全ケース)	148	100.0

問 4 3 あなたは障害に関する以下のことについて、どのように思いますか。a ～ f のそれぞれについて、つぎの 1 ～ 5 の中からもっともあてはまる番号 **1** から **5** をつけてください。

a. 人の幸せと障害の有無は関係ないと思う

	度数	%
そう思う	51	39.2
どちらかといえばそう思う	22	16.9
どちらともいえない	33	25.4
どちらかといえばそう思わない	3	2.3
そう思わない	21	16.2
合計(有効ケース)	130	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

b. 障害のある人が望めば、障害のない人と同じ教育を受けられるようにすべきだ

	度数	%
そう思う	54	41.5
どちらかといえはそう思う	38	29.2
どちらともいえない	30	23.1
どちらかといえはそう思わない	4	3.1
そう思わない	4	3.1
合計(有効ケース)	130	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

c. 「障害者」という表現は、不適切な表現であると指摘されることがあるため、別の表現に書き改める必要がある

	度数	%
そう思う	35	27.6
どちらかといえはそう思う	35	27.6
どちらともいえない	40	31.5
どちらかといえはそう思わない	8	6.3
そう思わない	9	7.1
合計(有効ケース)	127	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	148	

d. 同じ時間働いたならば、障害のせいで成果が低かったとしても、障害のある人も障害のない人も同じ賃金であるべきだ

	度数	%
そう思う	30	23.3
どちらかといえはそう思う	18	14.0
どちらともいえない	48	37.2
どちらかといえはそう思わない	16	12.4
そう思わない	17	13.2
合計(有効ケース)	129	100.0
無回答	19	
合計(全ケース)	148	

e. 障害のある人も他の人と同じように責任や義務を果たすべきだ

	度数	%
そう思う	30	23.1
どちらかといえはそう思う	29	22.3
どちらともいえない	39	30.0
どちらかといえはそう思わない	9	6.9
そう思わない	23	17.7
合計(有効ケース)	130	100.0
無回答	18	
合計(全ケース)	148	

f. たとえ負担が大きくなったとしても、障害のある人にもっと配慮した社会にすることが望ましい

	度数	%
そう思う	42	32.1
どちらかといえはそう思う	45	34.4
どちらともいえない	35	26.7
どちらかといえはそう思わない	3	2.3
そう思わない	6	4.6
合計(有効ケース)	131	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	148	

問 4 4 政府の役割に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a ～ e のそれぞれについて、つぎの 1 ～ 5 の中から最もあてはまる番号 **1 つに** ○ をつけてください。

a. 政府は、最低限の生活水準をすべての人に保障すべきである

	度数	%
そう思う	84	65.6
どちらかといえはそう思う	19	14.8
どちらともいえない	21	16.4
どちらかといえはそう思わない	2	1.6
そう思わない	2	1.6
合計(有効ケース)	128	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	148	

b. 政府は、働きたいというすべての人に働く機会を提供すべきである

	度数	%
そう思う	71	55.9
どちらかといえばそう思う	38	29.9
どちらともいえない	17	13.4
どちらかといえばそう思わない	0	0
そう思わない	1	0.8
合計(有効ケース)	127	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	148	

c. 政府は、障害のある人の賃金を障害のない人と平等にするためのコストを負担するべきだ

	度数	%
そう思う	48	37.8
どちらかといえばそう思う	19	15.0
どちらともいえない	44	34.6
どちらかといえばそう思わない	12	9.4
そう思わない	4	3.1
合計(有効ケース)	127	100.0
無回答	21	
合計(全ケース)	148	

d. 政府のやることは無駄が多いので、できるだけ民間に任せるべきだ

	度数	%
そう思う	19	15.1
どちらかといえばそう思う	23	18.3
どちらともいえない	66	52.4
どちらかといえばそう思わない	7	5.6
そう思わない	11	8.7
合計(有効ケース)	126	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	148	

e. 政府は、豊かな人と貧しい人の所得の差を縮めるために対策を取るべきだ

	度数	%
そう思う	62	48.4
どちらかといえばそう思う	39	30.5
どちらともいえない	21	16.4
どちらかといえばそう思わない	2	1.6
そう思わない	4	3.1
合計(有効ケース)	128	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	148	

問 4 5 差別に関するつぎの意見についてどのように思いますか。a～f のそれぞれについて、1～5 のうちから最もあてはまる番号1つに○をつけてください。

a. 差別について深く知ることによって、差別をなくすことができる

	度数	%
そう思う	55	43.0
どちらかといえばそう思う	37	28.9
どちらともいえない	26	20.3
どちらかといえばそう思わない	6	4.7
そう思わない	4	3.1
合計(有効ケース)	128	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	148	

b. 差別される側の気持ちを考えることは難しい

	度数	%
そう思う	30	24.0
どちらかといえばそう思う	30	24.0
どちらともいえない	26	20.8
どちらかといえばそう思わない	14	11.2
そう思わない	25	20.0
合計(有効ケース)	125	100.0
無回答	23	
合計(全ケース)	148	

c. いまの世の中には、差別される人々を保護するためとして、いきすぎた逆差別がある

	度数	%
そう思う	18	14.6
どちらかといえばそう思う	21	17.1
どちらともいえない	63	51.2
どちらかといえばそう思わない	13	10.6
そう思わない	8	6.5
合計(有効ケース)	123	100.0
無回答	25	
合計(全ケース)	148	

d. 差別される人々とあまり接触しないほうが、社会のなかで問題が生じることが少ない

	度数	%
そう思う	8	6.3
どちらかといえばそう思う	11	8.7
どちらともいえない	44	34.9
どちらかといえばそう思わない	20	15.9
そう思わない	43	34.1
合計(有効ケース)	126	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	148	

e. 差別があるのは、差別される側にも原因があるからだ

	度数	%
そう思う	8	6.3
どちらかといえばそう思う	15	11.9
どちらともいえない	54	42.9
どちらかといえばそう思わない	12	9.5
そう思わない	37	29.4
合計(有効ケース)	126	100.0
無回答	22	
合計(全ケース)	148	

f. この世の中で、差別がなくなることはない

	度数	%
そう思う	54	42.2
どちらかといえばそう思う	27	21.1
どちらともいえない	30	23.4
どちらかといえばそう思わない	6	4.7
そう思わない	11	8.6
合計(有効ケース)	128	100.0
無回答	20	
合計(全ケース)	148	

問 4 6 あなたは、現在の障害者福祉の水準について、どのように思いますか。つぎの1～5の中から
もっともあてはまる番号1つに○をつけてください。

	度数	%
とても低い	23	17.6
やや低い	31	23.7
どちらともいえない	61	46.6
やや高い	14	10.7
とても高い	2	1.5
合計(有効ケース)	131	100.0
無回答	17	
合計(全ケース)	148	

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。

	度数	%
記入なし	111	75.0
記入あり	37	25.0
合計(有効ケース)	148	100.0

障害福祉に関する意識調査 (知的障害のある人)

記述回答一覧

※ 同一文言による回答は一つのみ記載した。

問37(3) 障害に関する差別についてお聞きます。あなたはこれまでに障害があるために差別をされたと感じたことがありますか。それはどのような経験でしたか。さしつかえなければ、具体的にお教えてください。

1. S50年頃「あいつ1+1も判らん」とあざけりの言葉をあびた。2. S60年頃投石された。

あんな者と一語にするなど云われた

(いじめや排除)・友達から差別的な言葉を手本として渡され、それを自分のノートに書いていた。・運動会の時に、本人も出る競技のときに、友達から来るなど言われてしまい、行けなかった(あとで、参加できるようになった-父親が本人が一人だけにいるのを発見してなんとかなる)

地域の学校の子どもに「バカ」と言われたり相手にされず居場所がなかったこともある

昔、近所の人たちに「だら」だと言われたりして、仲間はずれやからかいを受けた。お金をだましとられた。

今はそんな事はないのですが障害者雇用枠で入社したのでが同僚のパートさん達に配慮のない言葉や悪口を言われて帰宅時に泣いていた時もありました。本人の努力と会社の協力でなくなりました。

同じ職場の人達の目先と態度と悪口が多くて、差別されてると思います。

近所の年上の人に人生設計は厳しく聞かれていやな思いをした。(25年のスポーツ大会後ふき)その人から呼び捨てでよぶれるのはやめてほしい

仲間に入る事が出来ず孤立する

祖父母から「家の恥だ」と言われた

いやな顔をされ短時間で処理された。

花見時期有料駐車場で車いすなので障害者専用Pにとめさせてほしいと受付でお願いしたところ受付の人が子供を見て、ブツブツと文句を言ってきた。小さい声でなにを言っているかわからなかったがとても嫌な思いをした。

べつ視する。

ある店で大きな声をはって店長らしき人から足をけられた。買物をしてレジをうっている人からじろじろ見られた。障害手続きや変更のさいの書類が多すぎる。(同じ様なことが何枚も書かなくてはならない簡単にできないのか節約と言いながらおかしい！)

グループホーム設立の時、近隣住民から反対されて断念した地域があった。(保護者の経験)

1

中学校でひどいじめにあった。

バカやと言う事で泥を食べさせられたりした事が小学校の時にあった。

学校に行っていたときにうけた。

クラスメイトや、下級生に悪口を言われたり、からかわれたりした。

小学校の時支援学校にいて、他のお子さんから、からかいがあり、とてもいやな思いをした。

小学校に入学する時、付きそいが必要で、親が都合で学校に行けない日は、「学校を休め」と言われた。

学校の先生から拒否された。

中学生の時、普通学級を望んだのに、障害児学級に在籍になり、同級生との学習時間が制限された

障害が重く、普通学校の普通学級に入りたいと教育委員会と何度も話したこと。

小学校入学前にいろんな学校を見学したとき、ある先生に「うちの学校はある程度いろんなことができる子にだけ入ってきてほしい」と言われたことがある。障害者の中にも差別があるのだと感じました。

共生社会という言葉が最近よく言われるようになって来ましたがまだまだ社会通念として、障害児は支援学校支援学級へという考え方が強いと思います。障害があっても健常児と共に学ばせたいと思うてもなかなか受け入れられなかった。最近少しずつそうした考えも受け入れられるようになって来て学校を選ぶことも本人、親の主張が通るようになったことは嬉しいと思います

バスポート申請時のサインの代筆時、どうしても本人に書かせると言われた。何度も説明したがなかなか認めてもらえなかった。「自分の名前も書けないのか？おかしいだろう」と言われた。

市役所の窓口の人が、何人も交代して、そのたびに待たなくてはいけない。

事故等で交通がマヒし、駅が人でいっぱいになっても何が起ったか、どうすればいいかわからず、結局家族が動かないことを伝えに駅まで迎えにいった。見かけはふつうに見えるし、何言われてもハイと返事してしまう為、違う場所にいったり迷子になったり。又高級ホテル等の使用は、こちらからやめさせてもらう。迷惑になるので、それにあまりいい顔もされない。障害者であることがわからない医者がいる。悪いところがあった治らないから障害者なのに、異常ありとしてしまう。

歯・ヒフ疾患の治療がなかなか受けられませんでした。他の病気はほとんどしたことがありませんで病気の時が不安です

身体障害にもなってしまう20才の頃、ケガで、リハビリ入院していた時、知的障害者の本人はコミュニケーション他どうしても、看護師や、他の患者さんから誤解を受けやすい。不快な言葉や態度を取られて、やむなく即、退院させられた。母親の私としては、悔しくて、涙が出た。2度入院して2回も経験して、つらい思いをしました。「本人は仕方がない」と理解はしてくれました。

2

- 203 -

障害の程度が外見からわからないので差別を受けたのではなく、教育者が、それを知っていて、十分理解しないで、一般人と比較して異常だと反応したこと。教育者もその程度かと、非常にがっかりした。障害者を理解すると言うことは、頭で考えるだけでは、ダメだと言うことだと思ふ。心が大切！！
ずい分、バリアフリーされた施設は多くなりましたが、いつも不便に思うことは運動のため、プールを利用したいが更衣室は男、女別々になっているため、息子をプールに私が連れていくと一緒に更衣室に入れないので、とても困ります。トイレのように障害者用の更衣室があると良いのにと思います。あと、障害があると入れる生命保険が限られるように思います。
・クレインのプールでプールのすみにに行けと言われた。・障害者が利用出来る施設がなくなっている。市長の方針？バードハンドハミングのプールのプールがなくなり、野球場が出来る。差別と言えらると思ふ。
入浴施設の段差、床のすべりやすい事。
相手の話しに理解できなかつた時。買物にいつて代金を支払う時。
一人で生活している時は、家はゴミの山、その中で殆んど横になって過ごしていたとの報告有り
駅で待っている時に若い子がホームに（床に）平気で座っている事に付いて変な人もいるものだと思えた時です。
書きたくないからかかない。

問 4 2 白山市の人々に対して、障害への理解を広げるために、どのような方法が有効だと思いますか。以下に自由に記入ください。
福祉施設等が取行う事業など（バザーなど）に参加してもらふ事にする。
地域活動に参加できる機会を多く設ける
福祉活動という形ではなく、もつと自然な形で市民活動に参加出来れば障害があっても楽しい活動が出来るし、理解してもらえらると思う。最初は招待されるなどのキッカケがあれば、良いが、現状は自分から参加する勇気が持てない。
白山市の人々というのは広いはいないなので、まず民生員の方とか、障がいに関心のある方に、生の障がい者を見てもらふ、接してもらふ、コミュニケーションをしてもらふような会を企画出来れば良いと思います。勉強しても、いかせるものではないと思います。会って、初めて、障がい者がどんな感じなのかがわかると思うので！！
健康者と言われる一般の人達が参加するあらゆる機会に障害のある人たちも普通に参加していけるような、それによって障害者に対する理解が深められるような政策が大切だと思います
・白山市の行政バス（あるかわからないが）名所をまわったりする中に福祉ふれあいセンターのカフェで休けいしてもらふ。・広報に障害を紹介するコーナーを作ってもらふ。
障害者に対する偏見みたいなものをなくすような取り組みはやってほしいと思うが、（例えば障害があることによって普通にくらしている人とどんなに生活が違い、どんなに苦勞して、嫌な思いをしてきたかを知ってもらえらるような情報を発信する）、その反面、うちの場合はあまり子供の詳しい情報は出たくない気持ちもあり、本人を特定されない配慮はしてほしい。←サザとか障害者をねらった犯罪にあわないために
福祉まつりの中で障害についてもっといろんな人に理解してほしい。
キャンペーン期間をもうけ、市民にアピールして欲しい 学校教育の場にも、老人福祉、障害者福祉について皆が考える事である旨、教えて欲しい。教育の1環として、福祉の現場を見学させる。
せめて年に一回でもいいから、白山市の就労支援施設及び作業所で働いている（又は、その場に来ている）障害者達の日常を、簡単なパンフレット等にして、広報等を通して、一般の方々に紹介する。時には、ハプニング（笑えるようなもの）等も紹介したり、ここでは、何をしてゐるのか等、一般の方々にわかり易く紹介してほしい。全施設一同にはではなく、1～2ヶ所ずつ位、順番に紹介して貰えたらいいと思います。もつと、障害福祉が身近かに考えられる様になるかも。これをずっと続けてほしいと思います。
障害者のリストを作成し公表する。
小学校など、子供の頃から、障害を持つ人への教育
多くの人は障害者と接することが少ないため、大変めずらしそうに見られることが多い。知ってもらふ機会が必要だと思います。
だれにでも支援すること
金銭的、人的援助してくれる事
障害のある人をケアしていく人を支援してほしい。

子供の頃から交流の機会を増やしていけばよいと思う。うちの子は小・中学校と地域で過ごしたので周りの人はみんな知っているし支援学校との交流もあったように思うので小さい頃から色々な子たちのことを知るといいのは良いのではないか。少しでも理解してくれるとうれしいし、何より知らないという事が問題だと思う。
子ども（幼児）の時から、健常者の中で過ごすことにより、保護者、子どもにも理解が深まると思う。教育の門扉を広くすることが必要。なかなか地域の学校に入れず、入ってからも気をまもらず安心して過せるには教員の質によっても難しいことがある。理解のある方だととても意義ある学校生活（障害のある子健常の子にとっても）になる。意義ある学校生活になると地域の方とも良い関係がもてる。障がいのある側も、勇気（勇気と書きたくはないが）をもつて地域に溶けこまないと（支援学校又は、支援学級にいる限りは）本当の意味で、他の人に理解されないうと思う。
障害者及び家族に対する、ご近所様の理解と認識、そしてあたたく見守ってくれる心のゆとりがほしい。
・障害のある人の理解を深めて欲しい。（白山市だけの問題ではない。）（スポーツ、レクリエーション等）
グループホーム、ケアホーム、又は、いろいろな支援制度を利用しながら地域で生活できるようにとの方針ですが、最重度の子を抱え親の高齢化でその支援を利用するにも親が行動し、手続き、書類記入等と年を取ると結構不坦になってきています。我が子はグループホーム、ケアホームがよいのか入所施設がよいのか今は解かりません。ケアホーム等もまだまだ数が少ない。やはり従来の入所施設（５０名程）が必要なのではないでしょうか。
・障害者の方は自分の思いを言えない分、奇声を発したりするが決して怖い人間ではないし、犯罪を犯す事はないのでそれを理解してほしい。その上で共生社会を築く為にも障害の方が働ける作業所やグループホームを作って欲しい。
白山市は、他の市町村に比べ、とても恵まれていると思う。それに対して感謝し、喜んでいる。しかし、この頃は、障がい者が利用しているプール等の施設の閉ざりがあり、残念です。公共の施設では、（クレインプール）障害者という事で、プールに入れなかった…という事も聞きました。だんだん、利用場所が無くなっていきますね。
日中は市内の授産施設で仕事をし、宿泊は市外の障害者支援施設で、土曜、日曜、祭日等は自宅に帰ってきます。遠方の他市で宿泊するのでなく白山市でそういう施設があればと思います。（ただ障害の程度により異なりますけれど、なかなか困難です。）
障害者を馬鹿にしたら何らかの対応してくれる機関がほしい
まずはどういう人を障害者というのか、ふつうの人とどう違うのか、そこからです。障害者を支援するとはどういうことなのか、言葉だけがひとり歩きしているように思う。ひと昔前に比べたら何かしら関心を持ちサービスなどをうけられるようにはなっはきただけれど、ふつうの人以上あるいは、ふつうの人と同じことを望むのは申し分ないと思う。
障害者やその家族に対して白い目で見える人が多い。そう人には理解を求めるにはむずかしい面があるが有効な方法は無い等しい。有効な方法があったとしても一時限りである。

むずかしい（余談）（正直小さい頃は可愛いくなかった…）親としては、障害者を持って育てる事の大変さを沢山味わってきました。金沢社会福祉事務所へも、何回も相談に行きました。相談員が、「同じ目線で」とか教えてくれましたが、その位ではとても参考になりませんでした。もっと適切なアドバイスが欲しかった。普通児とは違うのですから、他人の目や観せきの目も冷たかった。でも、今は大切な我が子です。手がかかりますが…
障害者及び家族は、自己で出来ることは、それなりに処理することが基本だと思う。障害者だからと、他から援助を求めてあたりまえたとの考は、不都合な面がある。しかし、いろいろの事情で、出来なくなつた場合、一般の人と比べて急に負担が大きくなってしまうのが障害者及び家族の現状である。高令者問題と同じ対策が必要と思う。たまたま、問題発生が早かっただけだから。
町に出るとジロジロ見る。子供をつれている人が多い様に思う。
すごく大変で答えるのがメッチャー大の苦手ですよ一仕事は休みでもアルバイト他はかわりたいです絶体に！
今は思いつかない
わかりません
わからない。
どうしたら理解を広めればいいかわかりません。障害を理解することはとても難しいと思います。同じ立場にならないとわからないことだと思っています。
全てを理解してもらふことは難しい事だと思います。障害を持った親でなければ分らないと思う。それでも少しでも理解して頂く事が大切でその子が好きで障害を持って生まれて来たのではないのだから。心から理解して下さる方が一人でも多くなる様親も努力しなければいけません。
現今では障害者への理解が白山市ではとてもよい方向にむかっていると思います。

■本調査に関して、ご意見などございましたらご記入ください。 この調査結果を是非公表して下さるようお願いいたします。 家族の要望により、施設職員として代筆しましたが、本人が重度の知的障害であり、言葉は全くしゃべれないので、本人の意志確認も全くできず、ほとんどの項目に答えることができせん。アンケートとしては成立しないと思われます。 このアンケート調査でその中でいくつかわかるところに1から5まで1つ選んで下さいとか書いてありましたがすべて3番のどちらともいえないとの方にしか選ばなかったものでどちらに選ぶのか？迷いましたので、3番の所ばかり○をつけました。すいません、お願いします。 全介助が必要な人の為の調査ではないと思う 調査項目が多すぎる。 知的障害のある者には、理解できるはずなどありません。一般的に障害者というのは身体障害者のことをさしているのではありますか？“差別”というのは、特に障害者にかざったことではありませんけれど、“差別”がなくなることとは決してなく、もつと臨機応変に対応していくことが、大事かと思えます。知的障害は認知症の方と似たような者が多いです。ここで問わなければならないのかと考えればそうなんだろうが、これはやはり“体が不自由で頭はふつう”という人に対しての調査だと感じます。今の日本という国にこれ以上望むのは無理だと思いうし、結局は一般の人の理解の問題だと思えますよ。P. S. 他の国では、障害者に対してどういうふうになっているのか、テレビ等で紹介してもらいたいのです。 障害福祉に関する問いかけですが身体障害者と知的障害者に分けた問題提供だったら分かりやすく、答え易かったのではないかと思います。 身体と精神を区別して実施すべき。本人と親とも区別して実施すべき。・どうせやるなら、もっと具体的なアンケート内容に。市役所の今後の方針を何処にするかだけの内容であり生活実態調査の方が、どうすれば良いかの答が出てくる。 ・障害種別によって解答がわからない点が多い 知的、身体では答え方がわからない。・本人は何と答えていいか理解しにくい面がある・法律が毎年のようにかわり障害に対して政治家(障害)に対して理解していない政治家が多い。) はもつと意見を聞きわかりやすいようにしてほしい。 本人がこのアンケートの内容を理解できることはほとんどなく、答えながら、「本人だったら…」と思えたところはそのように、「質問の意味も用語も全くわからないだろうな」と思えたところはつい回答者の意見でマールをつけてしまい、統一感がなくなつたような気がします。お役に立ててないかもしれません。申し訳ありません。 娘は知的障害があります。本人がこの調査を記入することはまず無理です。代って母親の私が記入するにしても、あくまで本人ではないので、こちらがどうだろうかあだろううかと本人の気持ちを想像して答えているだけで、自分の気持が本人の気持がよくわからなくなる所もありました。このアンケートは知的障害だとしても軽度の方、また身体障害があっても知的に問題のない人を前提として作られていると感じました。本人が記入出来るものと代筆者記入のものとは別々に最初から作られた方がよいのではないかと思います。
--

本人は読み書きができず重度の障害者です。本人の能力は今しかなく私（母）が代筆しました。が全記入は書きませんでした。（本人からの回答なし） うちの場合は、知的障害なのでアンケートの内容が本人には理解出来なかったり自分の要望等分らないことがありますので回答は私が（母）書きましたが理解しにくかったり職業など基準が高く思いました。 言葉のいみがわからないところがあってよくわからなくて質問の答えを書くのに時間がかかったものがあったので、あまり難しい言葉をつかわないでほしい。例えば問4 6の水準など。本人に代わっての回答には難しい質問が多く回答がないものが多くなってしまいました。私の方が子供が、どんなふうに考えているかわからないぐらいいです。 むずかしい質問が多かった。 知的障害者には回答が難しい。 書いてあることが難しすぎて答えにくかったです。 難しくてわかりませんでした。 ・「障害」ということが悪用されることがない社会なのかどうか？・障害の種類によっては、このアンケートに答えるのはむずかしい点もある 質問の内容が難しく、答える事が困難でした。障害によって、質問の内容を変えた方が良い様に思いました。 むずかしい 余談ですが、民間の企業にも、ケガをするまで4～5年働いていた子。一生懸命働いていた時は給料も多かったりもっていたが、いざ、ケガをした時、企業はとても冷たかった。1度目は労災。2度目は私道で下りよの事故（仕事の帰り道）命さえあやしい手術をした。会社から、即、退社手続きの用紙が届いた。人間は商品か？と辛い思いをしました。母親より障害者である本人が記入したのですが問4 0、4 1、4 3、4 4、4 5は、本人が判断するのが難しく思いました。社会全体が成果主義の時代で国民の意識がすこしでも障害者にやさしくあつてほしいと思っています。（母） 親が亡くなった後の子どもの将来がとても心配です。そうでなくとも親も体調不良、高齢になつていきます。早めにグループホームや施設で慣らしてあげたいですが、受け入れ先がなかなかありません。 人間は、弱い面があり、福祉の充実に、あまえてしまうこともある。行政側から、「あまえ」なのか「実際つらい」なのかの区別は、むずかしい。現況のきびしい社会状況の中で、「実際つらい」障害者及び家族に対して、正しい理解が出来るシステムを考えてもらいたい。 今、現在は、福祉に守られて（？）平安な生活を送ることができていますが、この先、将来には不安がいつぱいです。テレビで、障害のある6 5才くらいの人がサービスが減ったというのを知りました。介護保険と福祉サービスの兼ね合いがどうなるのか…こわいです。 どうにもならない事が沢山あり過ぎて、なかなか前へ進めない。生活のために思う様に本人に尽くす事が出来ない。気持ちと行動がうまく均等が取れないです。順番からいけば親は先に逝つてしまいます。現実です。 自分の意志を表現出来ない障害者のアンケートもお願ひします。
--

行政は、国全体の障害者福祉を、全体的にレベルアップさせる為に、もっと、地方間に専任のスペシャリストを配属させて、常に多角的に現状を見極め、個又は地域のニーズをすい上げて問題。又は、提言にもっと積極的に耳を傾けて、即、対応していくという行動が今とても必要だと思ふ。地域は又、他の複数の地域間の交流を密に持ち、問題を共有し善処し、時に協同で行政に対して、もっと要望を発信してほしい 障害者と保護者を置き去りにしないで常に現状を共有して進んで行きたい。この調査により、少しでも、現状をアビール出来れば、良いと思ふ。
差別問題はモラルの問題であり深く知ったとしてもりかいが互いにえられなければ全く意味がないので個人一人一人がなすべき行動をできなければ難しい問題だと思ふ。
世界を見まわしてみると日本は恵まれているなあとと思ふが一部の先進国に比べれば福祉の面でまだ足りないと思ふ事はたくさんある。将来の事を考えれば入所施設が今いっぱいという話をよくきくので増やしてほしい。
・国に求める政策について書かれていますが、何でもかんでも国にやってもらおうという考えは間違いだと思ふます。国に求めるのは、障害者が孤独になった時で、その時は「死」を意味するのでそうなった時こそ支援が必要だと思ふます。・差別についての質問が出てきましたが、生活水準が低いだけで差別するのは違ふと思ふます。人権弾圧が差別になると思ふます。なので人権弾圧をしている中国や北朝鮮にこそ問うべきです。
こちらから発信していない(しにくい)からかもしれませんが、どこへ相談すれば良いかわかりません。(問題によっても相談先が違ふこともありますので)
年令的に婚活を考えている様でも障害者の出合いの場所がわかりません。怪しい人にひっつかっていいやだし…。
仕事上イライラする人が居ても気にしないのでがまんするのにげんかいが近いようですがどうしたら割り切れますか
障害者だとしても、努力し、がんばっていれば、周囲の人たちはちゃんと理解し、サポートしてくれます。何もせず、人からのサポートを待っているだけでは、良い結果につながりません。障害がある事にあえていは、いけないと思ふます。
今回の調査でこれまで知らなかった用語や内容を知ることが出来ました。そしてさまざまな支援を誠にありがとうございます “差別のない世界” それは理想ですが現実問題そんな世界はどこにもありませんでした。親亡き後、安心な制度を切にお願い致します。

